

## 単元名 音のスケッチ(3)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けることができる。
- (2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることで音楽づくりの発想を得たりどのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりすることができる。
- (3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

02070208\_001

【教材名】おまつりの音楽をつくろう（器楽 音楽づくり）（P.45）

【準備等】和太鼓、太鼓の代わりになる練習台（電話帳、割った竹、古タイヤなど） ばち（スティック）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 日本の祭りや太鼓の音楽の特徴を生かして、祭りの太鼓のリズムを考える。</p> <p>○まねっこリズムをする。</p> <p>★おまつりの音楽をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の口唱歌をまねする。</li> <li>・口唱歌に手拍子を加える。</li> <li>・和太鼓でまねっこする。</li> </ul> <p>○太鼓のリズムをつくる。</p> <p>○つくったリズムを発表し合う。</p> <p>○太鼓の音楽を盛り上げる掛け声を考える。</p> <p>○グループでリズムをつなげ、音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぐ順番を考える。</li> <li>・つなぎ目やはじめと終わりに掛け声を入れる。</li> </ul> <p>○つくった太鼓のリズムと掛け声を呼びかけ合うように演奏する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前題材の「日本のたいこ」の演奏を1曲程度聴かせて、学習したことを想起させる。</li> <li>・扱うリズムをリズムカードで示す。</li> <li>・ばちのもち方を確認する。</li> </ul> <p>・教科書P.45の4種類のリズムパターンから2組（4小節分）を選んで太鼓のリズムをつくらせる。教科書を見るだけでは、リズムがつかめない児童もいると思われるので、1つつ「ドン ドコ」などと唱えながらリズム打ちをさせるとよい。</p> <p>【共通事項】リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会形式でなく、つくったリズムをどんどんつなげて演奏していく形でよい。</li> </ul> <p>【評】自分や友達がつくったリズムを聴き取り聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくか思いをもってリズムづくりをする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ソーレー」「セヤッ」「ワッショイ」などから、4小節分選んで掛け声のパターンをつくる。</li> <li>・余裕がある児童には、リズムカード以外のリズムをつくらせるとよい。</li> </ul> <p>【評】太鼓のリズムをもとに音楽をつくる活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの雰囲気を思い出させ、体全体でリズムを感じて演奏させる。</li> <li>・他の人が演奏しているときも、体を動かしたり、掛け声をかけたりして拍を感じさせる。</li> </ul> <p>・クラス全体でつなげてもよい。</p> <p>【共通事項】音色</p> <p>【評】太鼓のリズムやつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて音楽づくりに生かす活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>【評】音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】